



木宗通信

熊本県木材利用促進協定の締結

2025年3月24日に伊万里木材市場は熊本県株式会社ペーエスエーエー(熊本県)・ウイング株式会社東京(熊本県)との4者、県産木材利用促進協定を締結いたしました。

今回の木材利用促進協定は株式会社ペーエスエーエーエーが展開するPACO(ツール)バイフォー材利用による高性能住宅における熊本県産材の構造材利用率100%を目指す取り組みです。構成社は、森林業分野と原木・国産ツールバイフォー材生産を行う弊社と高性能パネルを製造するウイング株式会社、そして住空間・商空間の新築リフォーム設計施工における高度な技術を有した株式会社ペーエスエーエーにより構成されております。

熊本県は右記各社に対し助言やサポート、広報の協力などを行い、熊本県産材の更なる有効活用に取り組み協定となっております。

今後は協定4者により、熊本県での木材活用に対し積極的な取り組みを進めていこうと考えております。生産されるPACOは「小さな家PA

CO(パコ)を言葉に個人空間を重視した戸建て住宅です。約4坪の空間を持ちものにかかるコストやスペース、ひいては時間を最大限に活用できる高性能住宅となっております。

また、熊本地震での被災経験を活かし災害時の避難施設としての活用も視野に入れて設計されており有事の際は移送して移築することが可能なモハイル建築として活用することが出来ます。

実際に熊登半島地震において40棟以上が1か月の間に生産され住居として供給されました。このように短期間のうちに高性能住宅が被災していない地域から被災地へ供給されることは今後発生が予測されている南海トラフ地震等においても有効な取り組みとなります。



加えて、熊本県産材を活用した住宅は仮設住宅でありながら一般住宅と同等の居住環境を確保することができ被災者の生活と健康を守ることが出来ます。

また、部屋数PACOはつなげることもでき単身者向けの応急仮設住宅としての活用など単身世帯が増加する現代の社会情勢の変化に対しても対応することが出来ます。

実際の商品に関しては、公式のHP (<https://paco.co>)をぜひご覧下さい。住宅としての活用だけではなく民泊や店舗など規格化された高性能住宅の様々な活用事例が展開されております。

この協定をきっかけに、熊本県が誇る豊かな森林資源を活用し県産木材を積極的に利用することで2050年熊本県内CO2排出実質ゼロの実現と循環型森林の育成を目指します。

頻発する災害に対し、住宅を社会的備蓄として安定供給する公益と県産木材の利用と再造林を行い循環型森林を育成する目標は、困難も伴うと思われ

4月号
Vol.141

毎月7日発行



発行所

株式会社 伊万里木材市場木宗会事務局

〒849-0252

佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番二〇

TEL 〇九五五二〇二一八三 (代表)

FAX 〇九五五二一八一八五五

ますが関係各社との連携を活かし目標達成に取り組んで参ります。

(経営管理部 Y課長)

伊万里木材市場

木材動向①

◎素材

3月全社素材取扱量は46,200㎡の取扱いとなりました。

3月に入り20℃を超える陽気となり春の訪れを感じたと思えば、10℃以下の寒波で冬に逆戻りとなるなど、寒暖の差が激しく服装が悩ましい月となりました。

また、2月26日の岩手県大船渡市の山林火災から始まり、3月23日には岡山県岡山市と愛媛県今治市で同日に山林火災が発生し25日には宮崎県でも発生しました。大船渡市の火災での消失面積は2,900haと大規模な山林火災となり木材に関わる立場として火の取扱いは十分な気を付けなければならぬと改めて考えさせられました。素材動向としては、2月に引き続き出材は順調で、原木在庫を持たれて

いる製材所が増えてきて、市況として下がり傾向となりました。

市売価格としまして

松丸太は4巾1618cm直 2,3,7
200円/m、4巾1618cm小曲 2,2,8000円/m、4巾20022cm直 2,3,6900円/m、4巾20022cm小曲 2,2,6000円/mと前月比で700円、1,000円の値下がりとなりました。

杉丸太は4巾1416cm直 1,6,000円/m、4巾820cm直 1,5,000円/m、4巾1822cm小曲 1,3,000円/m、4巾2428cm直 1,5,000円/m、4巾2428cm小曲 1,3,000円/mと価格は安定しております。

4月の入荷状況は先月並みの入荷量を見込んでおります。

4月11日には福岡営業所にて福岡・大分合同市、28日には本社にて『木栄会防蹠特別市』を開催いたします。市に向けて絶賛準備中でありますが、ギリギリまで一本でも多く整木してお客様に購入して頂けるように進めて参ります。お客様の来市を従業員一同お待ちしております。

造材につきましては杉松ともに基本的には4巾をおすすめしております。未だ余尺の長短がございます。余尺100m程度での造材をお願いいたします。

優良材の元木については余尺が+20〜30cmつけた方が販売しやすいので、協力のほどよろしくお願いたします。造材について不明な点など、ございましたら素材部へお問い合わせいた

だきますようお願いいたします。

素材部一同、安定供給、安定販売に努めてまいりますのでより一層の協力のほどよろしくお願申し上げます。

(本社素材部 T課長)

◎製品

先月に引き続き、国産材の製材工場は原本コスト高や配送等のコスト高により、製材品の値上げが求められています。しかし、荷の動き鈍く需要が弱いままで、実際は値上げが浸透しづらいために、価格転嫁は思うように進んでいない状況です。

造材材では、国産材役物平割の入手が原本の出材減で困難になっており、価格も小幅な値上げとなっております。外材製管中も少なくなり、段階的に値上げが進んでいます。今後の仕事量や外材製品との兼ね合いなどで頭打ちになる可能性もあると思えます。

3月の当市場の相場は、

ヒノキGR土台1等上4巾105X100 5,5,000円/m、前月比横ばい
ヒノキGR土台1等上4巾120X120 0,5,000円/m、前月比横ばい
ヒノキKD土台4巾105X105 8,0,000円/m、前月比横ばい
スギGR母屋角1等上3,8,000円/m、前月比横ばい
スギKD母屋角特1 6,5,000円/m、前月比横ばい

スギGR平角特1 4巾105X150 1,800円(20厚同) 4,0,000円
スギKD平角特1 4巾105X150 1,800円(20厚同) 6,7,000円

スギGR小割 30X45, 45X45, 45X60(特) 1ブレナー148,000円
スギGR間柱 30X105, 45X105 特1ブレナー152,000円/m

スギ野地板 2巾122X小幅 3,3,000円/m、前月比横ばい
スギKD柱 3巾105X105 A品 2,000円/m、前月比横ばい
スギKD間柱 30X105, 45X105 2,000円/m、前月比横ばい

スギAD間柱 30X105, 45X105 6,4,000円/m、前月比横ばい
スギKD小割 30X45, 45X45, 45X60(特) 3,000円/m、前月比横ばい

スギAD間柱 30X105, 45X105 6,4,000円/m、前月比横ばい
スギKD小割 30X45, 45X45, 45X60(特) 3,000円/m、前月比横ばい

今後、製品の値上げがあると同時に、建築資材の高騰も避けられません。また、4月からの建築基準法改正により、建築コストも上がる見込みとされてい

ますので、今後の見通しがしづらくなっています。最後になりますが4月28日(月)に木栄会防蹠特別市を開催いたしますので、是非とも御来市の程を宜しくお願いいたします。

4月になり桜が満開で花見日和が続いています。また異動や入社など一年で大きく変わる月になりました。さて弊社では4月中市では福岡・大分合同市(優良材)メインで一部特殊材や古木がありますので奮って参加の方を宜しくお願い致します。また今年大分営業所では高校新卒者を名が入社しフレッシュな風が吹いていくと思えますので合わせて報告いたします。



3月の市況
スギ4巾1113cm直込み 1,2,500円/m、1,416cm直 1,6,000円/m、小曲1,4,000円/m、1822cm直 1,5,000円/m、小曲1,4,000円/m、2428cm直 1,5,000円/m、小曲1,4,000円/m

スギ3巾14cm直材 1,6,000円、小曲1,4,000円/m、1,628cm直 2,500円/m
スギ3巾直 1,4,500円/m、小曲1,2,500円/m
スギ3巾14cm直材 1,6,000円、小曲1,4,000円/m、1,628cm直 2,500円/m



3.00cm直14,000円/m
小曲12,500円/m

ヒノキ4中2〜13cm直15,500円/m
小曲12,500円/m、14cm直24,300円/m、小曲2,100円/m、16〜18cm直24,000円/m、小曲2,900円/m、20〜22cm直24,000円/m、小曲23,000円/m、24〜28cm直24,000円/m、小曲22,500円/m

ヒノキ3中16〜22cm直材22,000円/m、小曲20,000円/m、24〜28cm直材19,000円/m、小曲18,000円/m

松材は出材も多くなり値が少しづつ下がってきました。今後も下がるとは思いますが20,000円台はキープしていくと思われま

す。杉材も松同様に

出材とともに値下げ傾向にありますが小曲13,000円切るところで落ち着くと思われま

す。安定的に販売してまいりますので引き続きよろしくお願

い致します。

ここで話は変わりますが前回大分営業所担当の記事ではバイオマス

の状況と大分の素材業者状況について書きま

した。今回は山火事について書きたいと思

います。立春を過ぎてから岩手の大船渡

で2,900ha、岡山で560ha、愛媛の今治

で442haと各所で大規模な山火事が発生

しています。寒い時期に木々で暖をと

って火の粉が燃え移るケースやたばこの吸い殻から発火など多くは人のミスによる山火事がほとん

どぞです。弊社も十数年前山火事になった現場もあり気が引き締まる思いです。山火事を起こしたら警察からは事情聴取があり、消防署や自治体の消防団のお礼など様々なることが鎮火後は待ち受けています。今回の山火事の規模は凄まじく想像をはるかに凌駕するその後の苦勞があるのではないで

しょうか。春は花々が奇麗ですが、野焼きや焚火で引火する危険性が大いにありますので、皆さまも火気の取り扱いに十分注意し作業を行うよう宜しくお願いいたします。(大分営業所 K所長)



ドローンを活用しての業務改善、伊万里木材市場では、2024年7月より本社、大分営業所に各1台ドローンを導入し、山林の測量調査設備点検(行事)この動画撮影等に活用しています。以前の山林測量ではタブレット端末を活用して2〜3人ほどで測量し、1ha当たりの所要時間は約2時間でした。ドローンとタブレット端末を併用して時間短縮に取り組んでおり、ドローンを活用することで、測量データの取得が短時間で可能となりました。地形データ(3Dモデル)を取得しながら飛行し、高低差がある場合でも設定した高さ、設定した飛行ルートで写真を撮り続けます。航空写真を撮り

終えたら最初に飛ばした位置に自動で戻ってくるように設定しています。また電池切れになる前や電波が入らないような場合でも自動で戻ってきます。飛行時間は、1haの現場の場合、約10分で航空写真を撮ります。写真データを各営業所専用PCソフトで処理を行っています。処理時間は面積などで変わりますが、約1枚当たり8秒、約80分で自動処理されます。面積が小さくても写真の枚数が多いと時間がかかり、逆に言えば面積が大きくても写真の枚数が少なければ処理が早く終わります。写真枚数は高度が高ければ写真の枚数は少なくなり、高度が低ければ写真の枚数は多くなりま



山林調査やイペントで上空からの写真、動画をハンド撮影しており、ドローン

を飛ばした位置から操作するので、移動せずに写真や動画の撮影が簡単に出来ます。上空から撮ることで、地上からとは違った景色が楽しめますが、操作を誤ると墜落や建物等へ衝突の危険性もあるので、周りをしながら操作を行っており、少しでも危険を感じたときは、飛行をとりやめます。

ドローンのメリットとして測量時間の

短縮で人件費等の削減ができ、高画質な映像の撮影が出来ることで効率よく業務が進めていきます。デメリットとしては、天候や電波干渉、操作ミス等での事故や故障のリスクがあげられます。これまでもタブレット端末を使用し、急斜面や面積が広いところや花粉のシーズンや気温が高い日でも低い日でも長時間も歩いて測量を行うことは体力的にも厳しい状況でした。ですが、ドローンを使用した際に、数分で測量が終わることを実感しました。測量以外での活用も可能なので、ドローンの勉強を今後も続けていきたいと思

います。また、ドローン以外で営業面や他の業務も怠らないようこれからも励んでいきたいと思

います。(本社森林整備課)

木学会協賛市案内

4月28日(月)は木学会協賛特別市が開催されます。

今年から木学会協賛市が変更となっており、4月、1ヶ月の開催となりました。会員の皆様のご来市をお待ちしております。

なお、当日は、10時開市となります。木学会会長の挨拶後に早出賞の配布を行いますので、早めの来市をお願いいたします。



～新入社員紹介～

4月1日入社式が行われ、2名の仲間が加わりました。新社会人としての第一歩です。

皆さまからの温かいご指導、ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願ひします。

事務所などで見かけられたときはぜひ、お気軽にお声掛けいただけると存じます。

橋里 凜乙(はしりょうりお)



私は、長崎県立諫早農業高校の環境創造科を卒業しました。覚えるのが苦手でご迷惑をおかけすることがあると思いますが、少しでも早く会社の役に立てるように頑張ります。

佐藤 匠(さとう たくみ)

私は、日田林工高等学校の林業科を卒業しました。高校で習った専門的な知識を活かし、一日でも早く社内に慣れたいです。仕事では、先輩方の言うことを自分の物にし、お役に立つことができると頑張ります。よろしく願ひいたします。



木材動向②

住宅着工統計

2025年3月7日発表 2月分
出典：建築着工統計調査報告

住宅着工は、持家が減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したのが特徴

2月の新設住宅着工は、持家が減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したのが特徴となっており、全体で前年同月比2.4%の増加となつた。また、季節調整済年率換算値では前月比4.1%の増加となつた。

全国工法別	2025年3月			
	木造	在来	2×4	木質I/II
戸数	34,685	26,220	7,568	897
前年同月比	17.7%	3.9%	10.1%	9.9%

全国利用関係別	2025年3月			2月		
	合計	持家	貸家	分譲	マンション	戸建
戸数	60,583	16,272	25,744	18,213	8,422	9,628
前年同月比	2.4%	-0.2%	3.2%	5.1%	12.5%	-0.8%

九州地区と佐賀県、長崎県の新設住宅着工戸数と前年同月比

九州地区7,219戸、9.4%増、佐賀県4,277戸3.8%減、長崎県4,733戸3.5%増となった。特筆すべき点は、宮崎県、新設住宅着工戸数が5,003戸前年同月比65.2%増と全国でも高増加率となった。また、うち2×4は1,244戸、同様にして2×4の増加傾向がみられた。

編集後記

◎木も多様性が必要！
気候変動を遅らせるよう植林を行うならば、同じ種類の木ばかりを植えるべきではないという記事を読んだ。それによると、どんな木でも大気中の二酸化炭素を吸収し、植物組織に変えるが、森林再生に関しては、吸収される炭素の量も含め、木の種類を少し増やせばいろいろな利点があることが実証された。パナマのジャングルで20年近くわたり研究された結果、5種類の樹木が混植された森林は、単一樹種の森林よりも幹や枝に約36%も多く炭素を貯蔵できることが判明したそうだ。炭素貯蔵の面だけではなく、干ばつやハリケーンなど環境ストレスに直面して

も多種多様な森林は環境に対応できていたそう。それだけでなく、樹木の数が多ければ、貴重な太陽光を得るために樹木が競争するため、全体的な成長、特長、枝の成長が見られ、樹種が混在しているため、1、2種が時に大きな打撃を受けるような成長の変動や枯死の影響を受けにくくなっているそうだ。少し難しいが、種類が多いことで作用することなどが違って全体での許容範囲が広がるということだ。
多様性が求められるのは、木だけではなく、多様性は進化の前提であり、生き残るために必要なものは、モリカルチャー傾向の今の社会にこそ必要かと。全文を読みたい方は、<https://futureearth.org/> Warren Cornwall氏の3月12日記事をご覧ください。

木学会協賛 特別市 4月28日(月)

10時から木学会会長よりご挨拶がありますので、お早めにお越しください。ご挨拶後、開市となります。